



坂高だより

第7号 令和元年 10月発行

岐阜県立坂下高等学校
〒509-9232
中津川市坂下 624-1
☎TEL:0573-75-2163
☎FAX:0573-75-4011
🏠<https://school.gifu-net.ed.jp/sakasita-hs/>



座談会開催!

★ 今回は、普通科代表、福祉科代表、生活文化科代表の3年生3人に、坂下高校についてさまざまなテーマで話し合ってくださいました。座談会は大いに盛り上がり、今後の坂下高校の明るい展望が見えてくるものとなりました。そんな座談会の様子をお伝えします。



テーマ1 坂下高校で学びと、自分の成長について

Aさん

保育コースで子ども向けのおもちゃ作りをする中で、初めは自分が良いと思うものばかり作っていましたが。しかし学んでいくうちに、おもちゃを使う子どもの姿をイメージし、発達段階にあった色や手触りにもこだわることになり、より子ども目線のおもちゃを作ることができるようになりました。

Bさん

実際に実習に行って、現場での福祉を学び、将来役立つ実践的な技術を習得することができます。また、福祉とは「高齢者の支援をする」だけではないということも学びました。より多くの人があわせに暮らせる社会を作るという視点が、福祉を学ぶ上でとても大切です。

Cさん

普通科では中学生の時に身につけた力を使って勉強を深めることができ、とても楽しいです。わたしは中学生の時、勉強が苦手でしたが坂下高校に入ってから、それぞれの先生の工夫ある授業や、少人数授業での仲間との交流を通して、苦手を克服することができました。

Aさん

坂下高校独自の科目である「茶道」は他の学校では学べません。充実した道具、設備があり、学校の中には茶室もあります。茶道を学ぶことで、世界を見る目が変わったことを実感しています。

Cさん

坂下高校の授業はとても面白く、例えば数学活用の授業では数学の知識を使って立体的な模型を作ります。他の高校の授業では取り上げないような内容も取り上げてくださり、専門的な知識を深められます。

テーマ2 ボランティア活動の意義・参加して学んだことは何か。

Aさん

ボランティアは普段関われない色々な世代の人と関わることができます。ボランティアに参加することで、コミュニケーション力が上がります。また、地域の祭のボランティアに参加したときは、祭を開催する側の苦労を知り、色々な視点も持てるようになりました。

Bさん

実習で職員さんに「この前ゴミ拾いやってくれていたよね!」と声をかけていただきました。地域の方たちが、自分たちの活動を見てくれているのだと嬉しい気持ちになりました。また、先日地域のイベントへの参加の依頼がありました。ボランティア活動をしているからこそ誘っていただけるのだと感じました。

Cさん

還暦マラソンのボランティアに参加し、給水所でお水を渡すと、感謝の言葉をもらったり、応援すると表情を和ませてくれたりして、わたしも心が和みました。ボランティアは自分の成長にも繋がるし、相手からの言葉で捉え方や感じ方も変化していくと思います。





テーマ3 今後どのように地域に関わってみたいか。

Aさん

坂下高校のことをもっと知ってほしいです。また、沢山の人に学校に足を運んでほしいけど、高齢者の方は来るのが大変です。若い人にも来てほしいけど坂下駅から高校への行き方が分からないという声をよく耳にします。駅からのルートについて、もう少し分かりやすい地図があると良いのではないのでしょうか・・・生活文化科で地図の作成をやれると良いですね。

Cさん

あと、看板があると嬉しいですね。地図を作ったら、それをチラシにして新聞の折り込みに入れてもらえると良いと思います。また、どうやったら多くの人に来てもらえるか・・・高齢者の方が気軽に来られるように学校側からバスを出すというのはどうでしょうか。文化祭の時だけなら可能ではないでしょうか。

Bさん

高齢者の方を呼ぶ機会は結構あっても、学校側が主体なので、地域の人々が主人公となり学校で何かやってもらうのが良いと思います。例えば高齢者の方に、坂下の歴史、特産品について話してもらうことで、地域研究にも繋がると思います。また、生活文化科では坂下の言い伝えを本にするのも良いと思います。

Cさん

高齢者の方に、坂下で起こった災害についてのお話を聞き、理科の授業を使って防災マップと一緒に作るという活動を行ってはどうでしょうか。高齢者の方の長く生きてきたことの知識をわたしたちの学びにも生かせるのではないかと思います。また、地域の方に、文化祭などの大きな行事の時に、坂下の特産品を使ったお菓子や農産物などのお店を開いてほしいです。坂下という地区のアピールにも繋がると思います。

Bさん

高齢者の方に昔の遊びを教えてくださいながら一緒にやったり、高齢者の方の歌を教えてくださいすることも良いと思います。高齢者の方から学んだことを各科の学習に活かせると良いですね。



テーマ4 坂下高校の各科の魅力とは何か。

Cさん

基礎から深いところまでを学べることです。意欲さえあれば漢検や英検も合格できます。進学コースは進学をめざした勉強、普通コースは将来に繋がる学びがあります。少人数での授業であるため疑問点を聞きやすく、友人との交流も深まります。また友人に教えて感謝されることで、勉強への意欲が向上します。



Bさん

福祉科は3年生の1月に国家試験を受けます。1年生からそこに向かって勉強をされていて、3年生の10月からは7・8限の時間を使って補習をしています。また、福祉の先生は実際に資格を持っている方ばかりで、先生方の授業はとてもわかりやすいです。

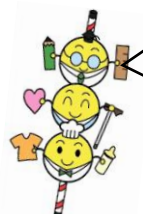


Aさん

フードコースでは、お年寄りの方や子ども向けの料理も作っています。手際がとても良く一人暮らしに必ず役立つと感じます。保育コースでは、ピアノ、お菓子作り、おもちゃ、歌など沢山の事を学べます。実習では、普通の人なら困ってしまう場面でも専門的な知識を活かし解決できます。坂下高校の先生たちは、1人1人を見てくれ寄り添ってくれます。先生たちがいつでも協力してくれとても温かい学校です。



坂下高校のQRコードになります。



更新中です。
ご覧ください☺